



令和元年8月台風10号による吉野川の出水状況 ～吉野川上流ダム群により治水効果を発揮しました～

- 令和元年8月台風10号における8月13日22時からの流域平均総雨量は、早明浦ダム上流域で約305mm、銅山川流域で約206mm、吉野川上流域（池田ダム流域）で約280mmを記録しました。（8月16日9時現在）
- 吉野川では、池田地点で「氾濫注意水位（6.70m）」に迫る水位6.35m（8月15日15:30）を記録しましたが、ダム群の治水効果により、氾濫注意水位超過を防ぎました。
- なお、吉野川上流ダム群の洪水貯留により、早明浦ダム下流の本山橋（本山町）地点で約0.77m、新宮ダム下流の吉野瀬（四国中央市新宮町）地点で約0.63m、また三好大橋（三好市井川町）地点で約0.46m水位を低下させたと推定されます。

※本資料における数値は現時点の速報値であり、今後修正する可能性があります。

令和元年8月19日

問い合わせ先

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所

TEL 0883-72-3000(代表)

ダム統合管理担当： 副所長 片井 良英(内線204)

○管理課長 徳井 智(内線331)

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

TEL 0883-72-2050(代表)

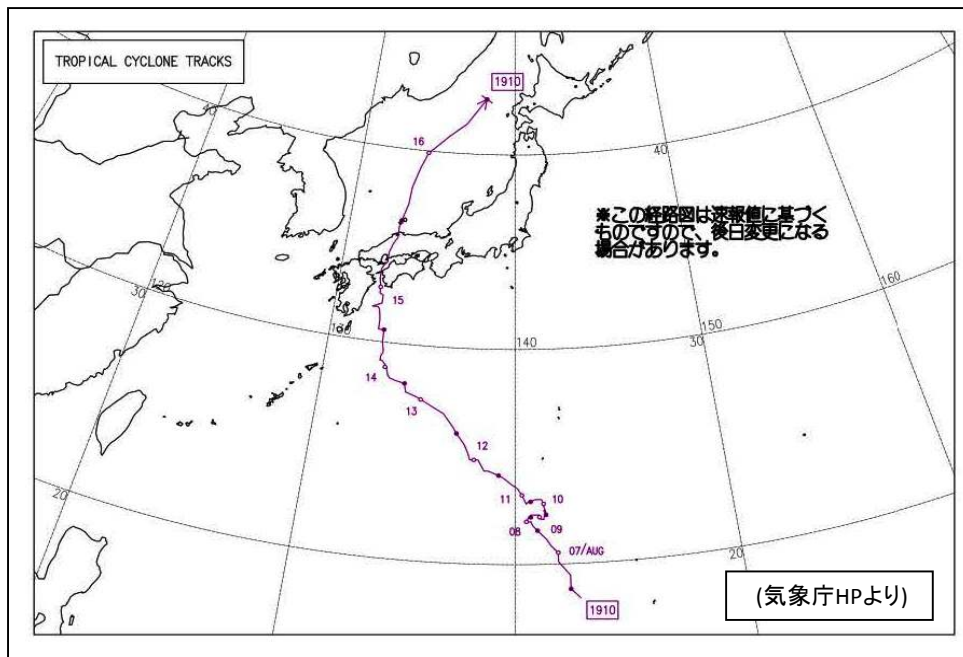
ダム操作担当：○第一管理課長 竹内 宏隆 (内線331)

○：主たる問い合わせ先

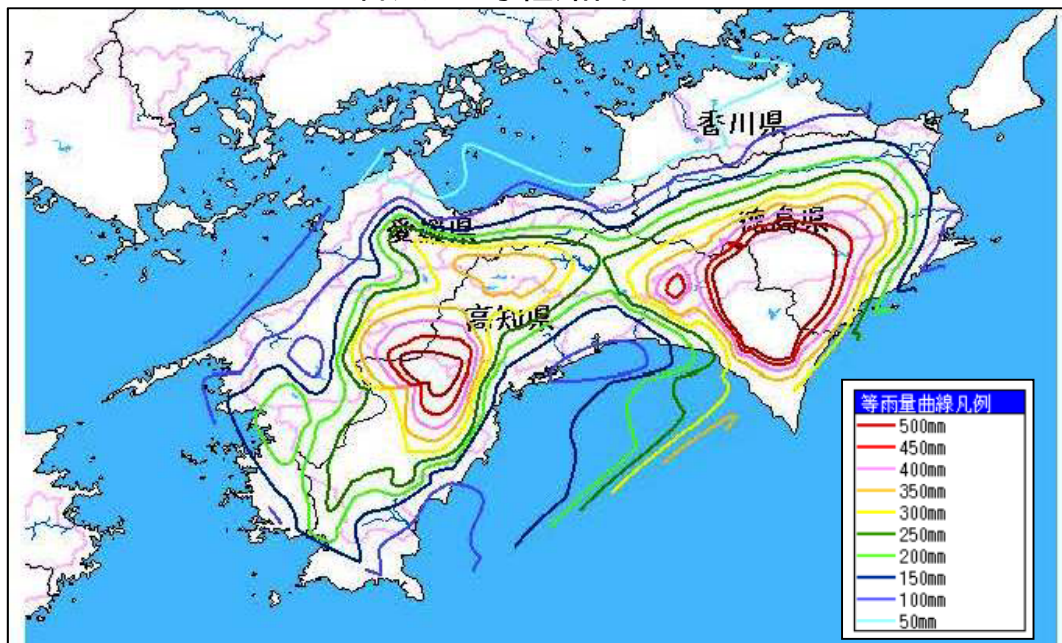
気象概況

～令和元年8月 台風10号による大雨の状況～

- 台風10号は大型で強い勢力を保ったまま豊後水道を通過し、各地で暴風をともなう大雨となった。
- これらの影響により、8月13日22時から8月16日9時までの流域平均総雨量は、早明浦ダム上流域で約305mm、銅山川流域で約206mmを記録した。



台風10号経路図



8月13日～8月16日の累計雨量分布

早明浦^{さめうら}ダムの洪水貯留効果



洪水貯留前

洪水前(8月14日9時撮影)

8月14日11時から16日9時まで
に早明浦ダムに貯留した量

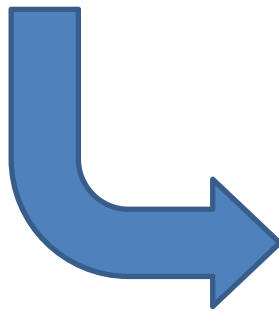
約1,914万立方メートル

洪水後(8月16日9時撮影)

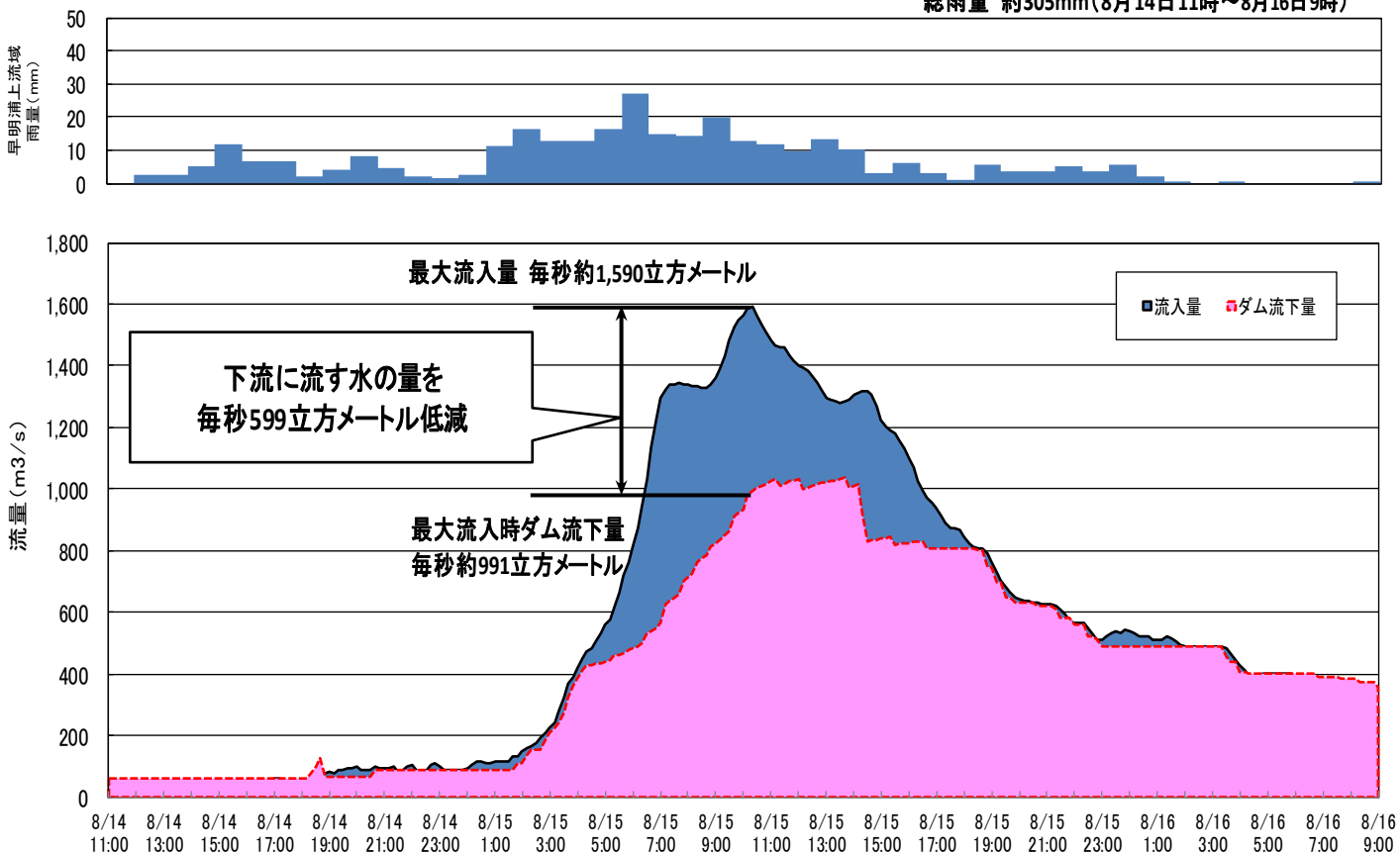


洪水貯留後

高さ3.2m相当を
ダムに貯留



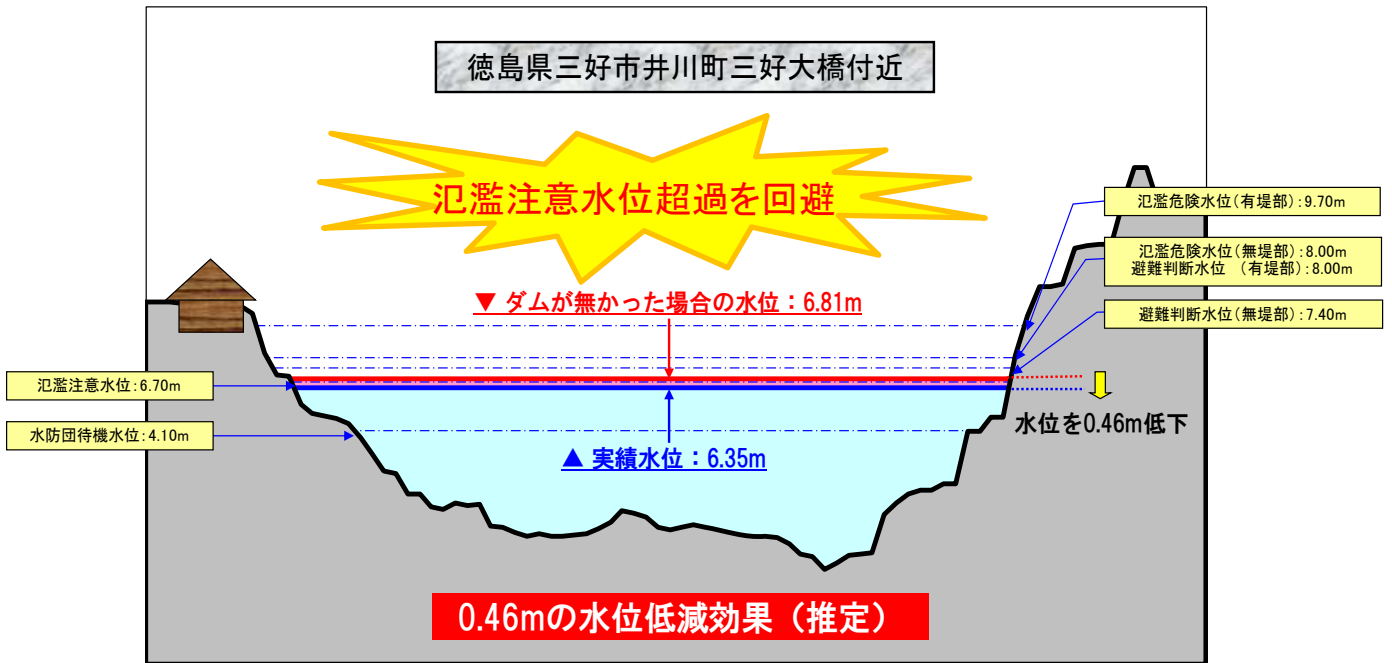
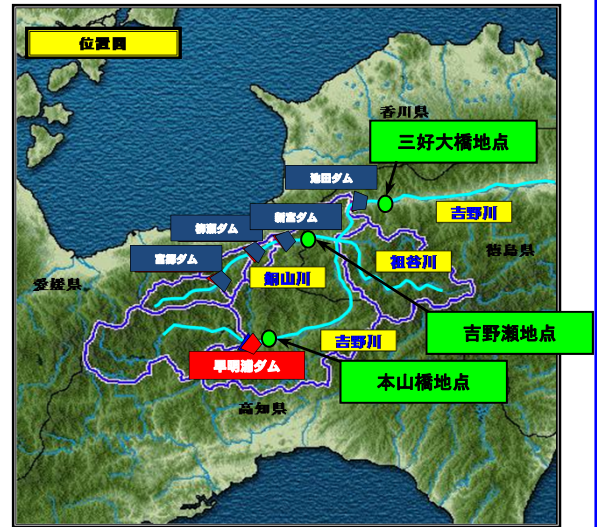
総雨量 約305mm(8月14日11時~8月16日9時)



早明浦ダムさめうらの洪水貯留効果

流域平均総雨量約305mm

早明浦ダム上流域では、8月14日11時から8月16日9時にかけて**流域平均総雨量約305mm**の降雨となりました。



早明浦ダムの洪水貯留効果

○早明浦ダムへの最大流入量毎秒約1,590立方メートルの内毎秒約599立方メートルを貯留することで、ダムから下流への流下量を毎秒約991立方メートルに低減しました。

○早明浦ダムの洪水貯留効果により、本山橋(高知県本山町)地点で約0.77m、三好大橋(徳島県三好市井川町)地点で約0.46m水位を低下させたと推定されます。